

# おばま 市議会だより

No. 167

令和3年度当初予算のトピックス	…P3
委員会活動報告	…P6
市政を問う！一般質問	…P8

# 委員会審査の主なもの

## 予算決算常任委員会 (3月補正予算)

**新型コロナウイルス感染症による指定管理関連予算の補正**  
**濱の湯納付金**  
 750万円(減額)

**濱の四季納付金**  
 150万円(減額)

**市営体育施設管理事業**  
 184万円

**意見** 今年度については新型コロナウイルスの影響という不測の事態であることから致し方ない点はあるが、今後は指定管理者からの納付金などの在り方について一定の基準を設けるべきではないか。

**災害時の一時避難場所として市内の企業と自主防災組織が応援協定を締結**

**地域・企業防災連携推進事業** 100万円

**説明** 協定を締結した企業に対し、一時避難に必要な資機材整備にかかる費用を補助するもの。

**問** 協定を締結する運びとなった経緯は。

③ 3階以上の建物を所有する企業の中から、県と市が協議の上で依頼したもの。企業と自主防災組織には、あくまでも一時避難場所としての使用であることをご理解いただいている。



## 総務民生常任委員会

### その他

**小浜市光ファイバ網整備工事請負契約の締結について**

**説明** 株式会社NHKテクノロジーズと工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるもの。

**問** 本事業者の選定に至った経緯は。

③ プロポーザルには6社が参加予定であったが、

実際に参加したのは本事業者1社のみ。工事実績もあり選定した。

**意見** 資材価格の高騰など様々な状況を想定して契約額が増額とならないよう契約内容を精査してほしい。

**総務民生常任委員会・産業教育常任委員会連合審査会**

### その他

**第6次小浜市総合計画基本構想の策定について**

**問** 振興実施計画を公表していない事情は。

③ 振興実施計画は、3年もしくは5年後の財源を念頭において計画する。財源確保ができないなど計画どおり進行しない可能性があることから公表としている。(P6に関連記事)



## 【可決した令和2年度3月補正予算】

会計名	既決予算額 (※1)	3月補正額	合計 (※2)
一般会計	212億 2,747万円	2億 7,431万円	215億 178万円
特別会計	75億 8,831万円	1億 6,975万円	77億 5,805万円
企業会計	34億 1,715万円	△ 5,434万円	33億 6,281万円
合計 (※2)	322億 3,293万円	3億 8,971万円	326億 2,265万円

※1:専決処分(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第14号))の5,128万円の増額を含みます  
 ※2:端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

## 委員会ってどんなん?

3月3日(水)の産業教育分科会調査を傍聴に来られた方に感想をお聞きしました。

初めて議会を傍聴しました。これまで政治は誰かがしてくれるもの、と人任せにしていた自分には、とても良い経験になりました。

傍聴した内容は、時間の都合上、上下水道課と商工観光課の一部だけでしたが、専門用語も多く素人には理解が難しい議題もあり、質問される議員さんは幅広い議題について日々勉強されていることを知りました。

議員さんの質問によって、市政の方向性や予算が決まっていくことを考えると、どの議員さんを選ぶかは私たちの生活に直結するのだということ強く実感します。このことを肌で理解することができたということが、傍聴に行ってみて最も良かったことの一つです。それから、議論が紛糾するような議会を想像していたのですが、比較的淡々と進められていたのも想像と違いました。おそらく、テーマにもよるのだろうと思うので、また機会があれば傍聴してみたいと思います。

残念ながら今回は資料を閲覧することができなかったのですが、今後は傍聴人にも資料が閲覧できるようになると、議会に対する理解や興味も高まっていくのではないかと思います。(40代女性)

# 令和3年度当初予算のトピックス

## 新しい交通体系にチャレンジ

新交通システム導入検討事業  
64万1000円

**説明** 昨年度、福井県と嶺南市町が策定した嶺南地域公共交通網形成計画を基に、より具体性を持たせた自治体独自の交通網計画を策定するために要する費用。

**問** 地域公共交通計画の具体的な内容は。

**答** 地域の移動にかかるニーズから問題点・課題を整理した上で、基本方針と目標を設定し、

その目標が達成できる取組みを検討して作成する。基本計画の枠組みを定め、デマンド交通などの新交通システム構築に向けての取組みを進めていく。計画期間は5年間で、その後見直しなどを検討していく。  
**意見** 北陸新幹線小浜開業を視野に入れ、しっかりとした交通計画を策定してほしい。

## エンゼルラインにサイクリストを誘客

観光推進事業  
613万3000円

**問** 整備の内容および誘客に向けたPR方法と今後の計画は。

**答** 展望台に休憩用のベンチとサイクルラックを各2台整備し、

ホームページや口コミによるPRを図る。今後は、県のサイクルルートと連携し、エンゼルラインの活性化を進める。

## 記念事業を盛り上げよう

市制施行70周年記念 杉田玄白賞20回記念「杉田玄白甲子園」  
34万6000円

**説明** 市政70周年を迎える中で、杉田玄白賞20回を記念して特別賞を設け、高校生を対象として、食に関連する医療、食育などをテーマとした研究・活動を表彰するもの。

**問** 事業実施スケジュールは。

**答** 3年生の推薦入試の時期などを踏まえ、5月に募集を開始し9月頃に受賞者を決定する予定。

### 【可決した令和3年度当初予算】

会計名	令和2年度	令和3年度	増減率	
一般会計	157億3,800万円	160億3,300万円	1.9%	
特別会計	75億4,965万円	78億2,753万円	3.7%	
内訳	国民健康保険	33億4,621万円	33億5,101万円	0.1%
	後期高齢者医療	3億7,795万円	4億1,703万円	10.3%
	介護保険	32億9,033万円	35億2,350万円	7.1%
	農業集落排水	4億6,060万円	4億7,441万円	3.0%
	漁業集落環境整備	7,451万円	6,153万円	▲17.4%
	加斗財産区	5万円	5万円	0.0%
企業会計	34億2,446万円	33億9,643万円	▲0.8%	
内訳	水道	9億533万円	8億8,210万円	▲2.6%
	下水道	25億1,913万円	25億1,433万円	▲0.2%
合計	267億1,211万円	272億5,696万円	2.0%	

### 【可決した令和3年度補正予算】

会計名	既決予算額	3月補正額	合計
一般会計	160億3,300万円	1億9,860万円	162億3,160万円
特別会計	78億2,753万円		78億2,753万円
企業会計	33億9,643万円		33億9,643万円
合計	272億5,696万円	1億9,860万円	274億5,557万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

# 委員会審査の主なもの

## 予算決算常任委員会 (令和3年度当初予算)

### 学生と地域住民によるまちづくり「さあ！地域づくりプロジェクト」のスタート

地域協働型学生活動「小浜Rキャン」推進事業

233万4000円

問 事業の進め方は。

答 地域創造アドバイザー（委託事業者）が、学生の活動上の視点などを指導する。市は市内各地での活動および地域住民と学生、アドバイザーのつなぎ役として事業を展開していく。



### 効率的な除雪体制を 除雪対策費2594万円

問 令和2年度に締結された協定などの内容は。

答 豪雪などで除雪が困難な場合に、市道および県道の除雪を市と県が相互に協力して実施する。また、要した費用を市と県で相殺するなどの調整を図る。

## 公園遊具の点検により 安全管理を 公園維持管理事業

2447万4000円

問 公園遊具の修繕基準および内容、点検事業者の選定方法は。

答 劣化度・危険度などの項目別に点検を実施し、修繕の優先順位をつけている。令和3年度は10の公園遊具に対する修繕を予定している。また、日常的な点検は指定管理者が実施し、法定点検においては資格を有する業者2社による入札で決定している。

意見 利用する市民にもその安全性が伝わるよう、点検結果の見える化が必要である。

## 就学支援事務が市へ移管 就学支援関係経費

296万9000円

問 就学支援専門員の配置に至った経緯は。

答 これまで保育園での行動観察および就学判定後の保護者との面談、保育園や小学校での状況確認など各種業務を県の嶺南教育事務所が担ってきた。今回、平成25年の法

改正以降の事務移管にかかる猶予期間が終了し、当該事務が市に移管されることになったため。

## ICT教育のスタート

小学校教育用コンピュータ整備事業 4318万5000円

小学校ICT教育環境整備事業 1286万3000円

中学校教育用コンピュータ整備事業 1437万8000円

中学校ICT教育環境整備事業 414万円

問 デジタル化に伴う教材の選定およびICTの整備にかかる今後のランニングコストは。

答 全教科をデジタル化する。ランニングコストとしては、コンピュータのリース代などとして当事業予算規模程度の経費が毎年度必要となる。今後、引き続き国からの支援を確実に得られるよう対応していく。

## 総務民生常任委員会

### 条例審査(主なもの)

小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について

説明 福井県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要綱の改正により一人暮らしの寡婦が助成の対象者から外れるもの。

問 一人暮らしの寡婦が医療費助成の対象者から外れる理由は。

答 この医療助成の実施は福井県を含み3県のみであること、男性の寡夫が対象でなく、現在の世情に合わなくなっているなど、制度に不公平感があるため。

小浜市重度障がい者(児)医療費の助成に関する条例の一部改正について

説明 障がい者(児)医療費助成の対象範囲を見直すための改正。

問 今回の改正で、医療費助成の対象が縮小され、身体障害者等級4級の方が対象外になった理由は。

答 県は、平成10年に4級を補助金対象外とし、現在4級を対象としているのは小浜市他3町であり、全国的にも少ない現状から標準的な水準に合わせ

た。また、障害福祉にかかる全体的な予算を勘案し総合的に判断した結果、1年間の猶予をもって十分に対象者の理解を得た上で助成を廃止するものである。

反対意見 「コロナ禍の中、医療費助成の対象外となる約300名の負担を少しでも軽くしてほしいため反対である。

### 陳情審査

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を国へ提出するよう求める陳情書について

内容 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出を求めるもの。

### 賛成意見

結婚により姓を変えることで不都合が生じる人の救済が目的である。また、国連女性差別撤廃委員会の勧告も受けており、ジェンダーギャップを克服するためにも必要である。夫婦どちらかの姓を選ぶことは可能であるが、96%が男性の姓を選んでおり、家制度の名残を残す現状の問題を変えていくべきである。

反対意見 夫婦同姓は、絆の深い夫婦関係や家族関係を引き継ぎ不都合はない。不都合が生じる場合は、通称名の使用が一般化しており問題が生じるものでない。

当制度に反対するわけではないが、本陳情趣旨である小浜市議会として提出することは時期尚早と考え、現段階では反対である。

## 産業教育常任委員会

### その他

### 財産の譲与について

説明 道の駅の観光誘客と地域の活性化を図るため、道の駅特産品販売展示施設などを株式会社まちづくり小浜に譲与するもの。

問 これまで道の駅特産品販売展示施設などの整備に費やした事業費および譲与に至った理由と双方のメリットは。

答 事業費は約7230

万円である。メリットは、当施設への民間資金を活用した投資が可能になる。市としては、指定管理料および施設の維持管理経費の削減につながる。

**問** 無償譲与についての考え方は。

**答** 国の補助金を活用しているため、無償譲与でなければ返還義務が発生する。投資による事業拡大を目指しており、市としては指定管理料および施設の維持管理経費を削減していく方が総合的に望ましいと判断した。

**問** 負担付譲与契約書について、契約期間が設定されていないが、今後の契約履行状況の確認については。

**答** 本市は、株式会社まちづくり小浜の筆頭株主であり、産業部長が取締役として履行状況を確認する。

**意見** 多額の資金を費やして整備した施設を民間事業者に譲与することになるため、双方が緊張感を持ち、当施設が本市の活性化に寄与するものとなるよう取り組んでほしい。

# 令和3年第1回定例会採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	第6次小浜市総合計画基本計画の策定について	条例	小浜市新型コロナウイルス感染症特別利子補給金基金条例の制定について※
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第14号))※		小浜市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について
	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第15号)※		小浜市の公の施設の設置および管理に関する条例等の一部改正について
	令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)※		小浜市附属機関設置条例の一部改正について
	令和2年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)※		小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
	令和2年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)※		小浜市国民健康保険条例の一部改正について
	令和2年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)※		小浜市農産物加工施設設置条例の廃止について
	令和2年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第3号)※		小浜市道の駅の設置および管理に関する条例の一部改正について
	令和2年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第1号)※		小浜市総合計画審議会設置条例の一部改正について
	令和2年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)※		小浜市議会基本条例の一部改正について
	令和2年度小浜市下水道事業会計補正予算(第3号)※	小浜市議会会議規則の一部改正について	
	令和3年度小浜市一般会計予算	その他	小浜市光ファイバ網整備工事請負契約の締結について※
	令和3年度小浜市一般会計補正予算(第1号)		第6次小浜市総合計画基本構想の策定について※
	令和3年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算		財産の譲与について
	令和3年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算		若狭消防組合規約の変更について
	令和3年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算		若狭広域行政事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更について
	令和3年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計予算		小浜市道路線の認定について
令和3年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計予算	人事	副市長の選任について(谷口 竜哉氏)	
令和3年度小浜市水道事業会計予算		固定資産評価審査委員会委員の選任について(上野 秀枝氏)	
令和3年度小浜市下水道事業会計予算		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(大橋 導子氏)	
令和3年度小浜市下水道事業会計予算		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(堀田 公恵氏)	

※佐久間博議員は欠席

## 賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)  
○=賛成 ×=反対 除=除斥(規定により採決に加われない) 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
予算	令和3年度小浜市介護保険事業特別会計予算	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1
条例	小浜市介護保険条例の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	15	2
	小浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	15	2
	小浜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに小浜市指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	15	2
	小浜市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16	1
	小浜市指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	16	1
	小浜市重度障がい者(児)医療費の助成に関する条例の一部改正について	多	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	13	4
陳情	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を国へ提出するよう求める陳情書	否	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	7	10	

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

# 委員会活動報告

## 第6次小浜市総合計画調査特別委員会

これまでの小浜市総合計画に対する議会の関わりは、市長の諮問機関である総合計画審議会の委員に議員数名が参画し、必要な調査・審議を行ってきました。

今回の総合計画の策定に当たっては、今後10年間の方向性を決定する本市の最上位計画に策定段階から「議会として」関わり、議会としての考え方を反映させることを目的に、これまでのような審議会への参画ではなく、令和2年3月定例会において、議長を除く全議員で構成する第6次小浜市総合計画調査特別委員会を設置し、本計画について議会全体で調査を進めてきました。

意見」と「合意に至らなかった意見」に振り分けました。

結果として、基本構想(案)については、自由討議を実施した意見32件のうち9件、基本計画(案)については、68件のうち22件について合意形成を行い、総合計画と個別計画との関係性や市民の認識などを踏まえた文言修正などの意見を取りまとめた調査報告書を作成。その報告書が1月29日、議長から市長に提出されました。※報告書の詳細は議会ホームページをご覧ください。



## 北陸新幹線早期全線開業特別委員会

おおい町議会との意見交換会

実施日 令和3年2月16日

場所 おおい町役場

北陸新幹線早期全線開業に向けての取組みおよびまちづくりに関する調査研究を進めるに当たり、嶺南地域全体の意見や機運を把握し、今後に反映させることを目的に、当委員会の9名とおおい町議会の代表6名による意見交換会を行いました。

おおい町議会からの意見として、「駅の名前については、若狭を代表する駅として、若狭地域全体を盛り上げていくような形をとっていただきたい」「新しいまちづくりに若者の視点を活かすべき」、そのほか停車本数についてなど、多くの意見をいただきました。

また、当委員会としては、敦賀以西の着工を2023年度当初からという要望の中で、今ある課題の説明や、小浜線を利便性の高い二次交通に仕上げることの重要性、

広域で連携して関係人口を増やしていくことの必要性などの意見が出ました。

そして、新幹線効果を發揮するには、近隣市町はもとより、嶺南地域全体が一体となり、考えを共有することが必要であるという意見で一致し、今後も意見交換会を継続していくことの重要性を互いに確認しました。



## 産業教育常任委員会(所管事務調査)

本年度は、市営公園27カ所について、社会情勢の変化に伴う有効な管理・活用方法などを調査するべく、「これからの市営公園のあり方について」をテーマに、計11回の委員会を開催し、各種調査・研究を行ってきました。

調査においては、平成29年の都市公園法の改正内容を踏まえた後、関係各課へのヒアリング、全委員による公園の現地調査、公園が設置されている地区関係者などへの聞き取りにより現状を把握した上で、委員会として、今後目指すべき公園の姿を「地域に親しまれ、活かされる持続可能なみんなの公園」と設定し、その姿に向けて必要な施策を議論してきました。

- 調査を踏まえ、市営公園がさらに市民の有効なスペースとして存在するため、現状において必要な施策を次のとおり取りまとめました。
- (1) 既存施設・設備の管理徹底
  - (2) 適切な維持管理に向けた計画および管理基準の具体化
  - (3) 遊具などの点検徹底および安全・安心の確保
  - (4) 時代に即した公園への転換
  - (5) 各公園の役割の明確化および総合的かつ計画的な運営
- 当委員会では、今後市の限られた予算・人員の中において公園のストック効果を高めていくには、各地域の負担・ニーズなどを踏まえた上で市民協働による取組みが必要不可欠であることを確認したところであり、他市の事例などを参考にした「(仮称)公園美化パートナー制度」など具体的な取組みの一例も提案しました。
- 今後も持続可能な体制づくりをみんなで構築し、次代へ継承していきけるよう努め、各種課題について引き続き検証していくことが必要です。
- ※調査内容の詳細は議会ホームページをご覧ください。

# 議会改革の取組み

## 「議員定数削減要望」に関する意見交換会

実施日 令和3年3月24日

参加者 議長・副議長・議運委員6名

区長連合会役員11名

傍聴者：市民ら約30名

昨年11月に、小浜市区長連合会から「市議会議員の定数削減に関する要望書」が提出されました。内容は、少子高齢化による人口減少と、税収入減少により市の財政が厳しい中、議員定数の複数削減を要望するというものです。

それを受け、議会運営委員会と区長連合会の皆さまと要望書提出に至った経緯などについて意見交換会を行いました。



区長連合会からは、

「小浜市の財政事情や人口比を踏まえた要望である」

「現在18人としている根拠が分からない」

「議員定数を削減すること自体が目的ではなく、議会改革のスタートになれば」

「削減した議員報酬を振り分けることで、若い方が立候補することも可能ではないか」

「定数の議論だけでなく、小浜市を盛り上げる政策提案をしてもらいたい」などのご意見をいただきました。

## 議会基本条例および会議規則の一部を改正しました。

### <主な改正内容>

#### ■小浜市議会基本条例の一部改正について

本条例の目的その他の規定の達成状況について、議会運営委員会において検証・見直しを行う時期を明文化しました。

改正前：定期的に

改正後：一般選挙を経た任期2年経過後に

#### ■小浜市議会会議規則の一部改正について

「議員は、出産のために会議および委員会に出席できないときは、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる」とする規定について、産前・産後の欠席期間の上限を明文化しました。

改正前：日数を定めて

改正後：出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして

上記の内容のほか、実際の運用との整合性を図るため、所要の改正を行いました。今後も不断の議会改革に取り組んでまいります。

## 今月の表紙

### 「深山飯盛寺の桜」

小浜市内で、一番に咲く彼岸桜は、加斗地区飯盛山中腹の景勝地に立つ、高野山真言宗の飯盛寺広場に咲いています。天気の良い日は、若狭湾の海も見え、満開に咲く桜とともに楽しみなスポットです。この日も、檀家さん家族がお参りにおいででした。

## 議員辞職

3月23日付けで、佐久間博議員が健康上の理由により議員辞職しました。

### 【佐久間博議員の略歴】

平成19年4月 初当選

◇平成21年6月～平成23年3月  
産業常任委員会委員長

◇平成28年10月～平成29年6月  
広報委員会委員長  
などを歴任されました。



# 市政を問う！一般質問

令和3年第1回（3月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. 令和3年度当初予算編成について 2. 第6次小浜市行財政改革大綱について 3. 文化財保存と今後の整備計画について	川代 雅和	1. 海岸漂着ごみの対策について 2. 交通弱者の移動手段確保の取り組みについて
杉本 和範	1. ふるさと納税による行財政の改善 2. 新年度からの保育について 3. 小浜市の農林水産業のこれから	熊谷 久恵	1. 介護における取り組みとその認知について 2. 市民に伝わる周知方法について
坂上 和代	1. GIGAスクール構想について 2. 中学校給食の業務委託の現状について 3. 「自衛隊配備に関する要望書」について	東野 浩和	1. 男性介護者と今後の介護社会について 2. 女性視点を活かした防災、避難体制について
牧岡 輝雄	1. 第6次総合計画について 2. コロナ禍での小浜を研ぐ重要施策について	能登 恵子	1. 障がい者へのコロナワクチン接種対応
		下中 雅之	1. 新型コロナウイルスワクチンの接種について 2. 組織機構の改編について

問 行財政改革の必要性について伺う。

答 1年間の実施計画である令和3年度当初予算の基本的な考え方と重点課題を伺う。

新型コロナウイルス感染症の影響から、市民生活や地域経済を回復する取り組みの為、当初予算と令和2年2月専決予算と3月補正予算を一体的に編成した。市税や地方消費税交付金など、一般財源が減少すると見込み、社会保障経費の増加、広域ゴミ処理施設や、新健康管理センターの整備など、行政需要も多くなり今後も厳しい行政運営が続く。第6次総合計画に基づき、コロナ対応、北陸新幹線敦賀開業及び小浜開業を見据えた7つの重点課題に取り組む。



風呂 繁昭 議員

## 当初予算の基本的な考え方と重点課題は

問 人口減少、少子高齢化に伴い歳入の確保が難しくなり社会保障費が増え市民サービス提供が厳しくなり、又、自然災害の多発や、コロナウイルス感染症が安全・安心や地域経済に影響を及ぼしている。そして、公共施設などの老朽化で多くの施設で大規模改修が必要になり、その上過去の大型プロジェクトにかかる公債費があり来べき新幹線開業に向けた準備のため従来通りの行政手法では課題解決が困難であるため、行財政改革が必要である。

答 人口減少、少子高齢化に伴い歳入の確保が難しくなり社会保障費が増え市民サービス提供が厳しくなり、又、自然災害の多発や、コロナウイルス感染症が安全・安心や地域経済に影響を及ぼしている。そして、公共施設などの老朽化で多くの施設で大規模改修が必要になり、その上過去の大型プロジェクトにかかる公債費があり来べき新幹線開業に向けた準備のため従来通りの行政手法では課題解決が困難であるため、行財政改革が必要である。

問 指定、未指定の多くの文化財があるが、整備の順位と保存活用地域計画を伺う。

答 5つの関連文化財群を設け、さらに10の保存活用区域を設定。その内4つの重点区域を指定整備し保存活用を進めていく。改正文化財保護法により御食園、食文化を掲げて観光資源化して取り組む。

問 令和2年度(R3・1月末時点)のふるさと納税寄附額は。

答 1万1624件、2億2053万4000円で前年の84.9%。

問 令和3年度当初予算での寄附見込額は。

答 2億8000万円。そのうち寄附金の使い道や目的を明確にしたガバメントクラウドファンディング型で200万円含む。

問 今後の取り組みは。

答 厳しい財政状況にあるからこそ財源を外部からの寄附により調達するという視点を職員一人ひとりが持つよう職員の意識改革にも取り組む。

意見 観光交流人口189万人。その1割が寄附していただけ目標設定やふるさと納税への体制を庁内で組めば、寄附額10億円は可能。庁内の課をまわって取り組み、社会福祉



杉本 和範 議員

## ふるさと納税で財政改善・新年度保育は

問 3歳児から5歳児の人口に対する入園率は、毎年100%に近い状況で推移している。現時点では影響は限定的。令和4年9月からは、無償となる世帯年収を640万円未満に引き上げる予定で、0歳から2歳の潜在的な保育需要が更に喚起されることが予想される。

問 保育従事者の確保と待遇は。

答 国の基準を満たす保育従事者を確保し配置しているが、今後0歳から2歳の保育需要の喚起と相まって、必要保育従事者数が増えており、年々その確保が困難となつてきている。

問 令和2年度(R3・1月末時点)のふるさと納税寄附額は。

答 1万1624件、2億2053万4000円で前年の84.9%。

問 令和3年度当初予算での寄附見込額は。

答 2億8000万円。そのうち寄附金の使い道や目的を明確にしたガバメントクラウドファンディング型で200万円含む。

問 今後の無償化の影響は。

答 3歳児から5歳児の人口に対する入園率は、毎年100%に近い状況で推移している。現時点では影響は限定的。令和4年9月からは、無償となる世帯年収を640万円未満に引き上げる予定で、0歳から2歳の潜在的な保育需要が更に喚起されることが予想される。

問 保育従事者の確保と待遇は。

答 国の基準を満たす保育従事者を確保し配置しているが、今後0歳から2歳の保育需要の喚起と相まって、必要保育従事者数が増えており、年々その確保が困難となつてきている。

全体の財源を創出する聖域なき挑戦をして欲しい。

問 新年度幼稚園保育園などの入園状況は。

答 この4月に保育園や認定こども園などに入園を予定している児童数は、3月1日現在1052人で、前年同月と比べると22人の増。



# 一般質問



坂上 和代  
議員

**問** 4月から端末を活用した学習が始まる。電磁波を長時間浴びることに、過敏症の子どもが懸念されるので、安全対策を問う。

**答** Wi-Fiのアクセスポイントとは人から離れた位置にしたり、タブレットの長時間使用を避けたり、目を休ませるようしたりして、安全配慮に万全を期していく。

**問** 教職員の負担が増えることへの対応は。

**答** 研修会の実施。ICT支援員1名を配置している。ICT教育と従来の学習とのベストミックスを図る。

**意見** 電磁波曝露と電磁波過敏症との因果関係は、現段階では明らかになっていない。しかし携帯電話基地局周辺では電磁波による健康被害が各地で起きている。

## 1人1台の端末活用—電磁波安全対策は

めまい、動悸、睡眠障害、白内障や緑内障等々。小さい子どもほど大きく影響を受けるので、万全を期してほしい。支援員は更に増員が必要。従来の学習形態の良い点—生徒と先生の人間的な触れ合いを大事にする—と、ICT教育とベストミックスを図っていただきたい。

**問** 防衛大臣に提出された自衛隊配備に関する要望とは。

**答** 原発が多数立地している嶺南地域において、有事の際の迅速対処と北朝鮮のミサイル攻撃などの抑止力となるための配備と、避難用の大型ヘリコプターの離着着訓練などを要望。

**意見** 市民は高島市の民家に砲弾が落ちた事故が身近にあり、自衛隊の事故と騒音を大変危険している。武力で対抗する抑止論ではなく、話し合い、外交の力で解決をすべき。



牧岡 輝雄  
議員

**問** 市民より産婦人科の受診待ち時間の改善を求める声があるが、妊婦など受診者に負担をかけない改善策は取られているのか伺う。

**答** 産婦人科については、令和元年5月に改修工事を行い、外来面積を2倍に拡充、診察室を2室から3室へ、内診室を1室から2室とし、新たな待合室も増室している。また、施設整備と合わせ、常勤医師を平成30年度の3名から令和元年度以降は4名へと拡充し外来患者・受診者の受け入れ態勢を整え、産婦人科の充実を図っている。しかしながら、その後における新型コロナウイルス感染症の国内への広がりに、感染拡大防止の観点からソーシャルディスタンスを守るため、待合席を減少させるな

どの対応を行っており、その分不便が生じている。このことから、同外来では、受付時における患者や受診者の方の状況確認や早期の診察が必要な方の医師への報告、待合で座れない方に対しての椅子の提供や近くの待合までの誘導など、常時、状況把握と対応に努めている。また、午前中の時間帯は予約診療と重なることから、予約診療を午後も実施し、午前中の混雑緩和を図っている。病院としては、患者や受診者の負担を少しでも軽減できるよう、改善の対応を図っており、市としても、今後さらに同院の改善が図られるよう努めていく。

## 公立小浜病院の運営について

**意見** 医療従事者の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策などで大変な時ではあるが、市民に愛される病院として引き続き改善に努めていただきたい。

このことから、同外来では、受付時における患者や受診者の方の状況確認や早期の診察が必要な方の医師への報告、待合で座れない方に対しての椅子の提供や近くの待合までの誘導など、常時、状況把握と対応に努めている。また、午前中の時間帯は予約診療と重なることから、予約診療を午後も実施し、午前中の混雑緩和を図っている。病院としては、患者や受診者の負担を少しでも軽減できるよう、改善の対応を図っており、市としても、今後さらに同院の改善が図られるよう努めていく。



川代 雅和  
議員

**問** 海岸漂着ごみの回収などにかかる新たな取り組みについて伺う。

**答** 市管理海岸における漂着ごみの回収の際に簡単な分別を行い、一部を市の処理施設で受け入れを考慮しており、回収を行う地域の理解を得ながら、漂着ごみの効率的な処理方法を検討する。

**問** 漂着ごみ対策の方向性について伺う。

**答** 漂着ごみは、住環境や観光、漁業および生態系などへの影響が懸念される重要な問題である。令和2年10月26日に小浜市海岸漂着物対策会議を設置し、関係課が連携する体制を整えた。漂着ごみの削減対策は、プラスチックなどごみの多くは陸から流出したものでありプラスチック製容器包装やペットボトルな

## 海岸漂着ごみ・交通弱者の移動手段確保

どの収集・リサイクルを徹底し防止につなげる。漂着ごみの発生抑制対策は、海岸を有する地域だけの問題ではないことから、啓発活動を積極的に行いたい。

**問** 新交通システム導入検討事業の取り組みについて伺う。

**答** 通学だけでなく高齢者など沿線利用者や北陸新幹線敦賀開業を見据えて、観光で訪れる方などにとっても、利用しやすい公共交通となるよう、課題や目標・方針を整理した上であいあいバスに新たな交通システムを導入を検討する。

**問** 来年度以降の交通システム導入の進め方について伺う。

**答** 令和3年度中に導入案を策定し、4年度において、新交通システム導入の実証運行を予定している。6年度頃から新交通システム導入を視野に入れて準備を進めたい。



熊谷 久恵 議員

問 高齢者の現状は。

答 昨年10月現在の市の65歳以上は9343名今後緩やかに減少傾向も、2025年に団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者が増加する。今年度の要介護認定者は1714名と微増。

問 在宅介護者実態調査・一般高齢者向けニーズ調査の結果と考察は。

答 要介護状態リスクは、うつ傾向44.7%と高く、認知機能、転倒の順。うつ傾向は65歳〜69歳が4割弱、80歳〜84歳は5割強である予防には外出や地域とのつながりが重要。今後、参加しやすい事業や免許返納後の移動手段の確保が必要である。

問 相談窓口は。

答 介護、福祉などの面から高齢者と家族を支える「介護なんでも相

談窓口」が、健康管理センターとサンサンホーム（社協）内にある地域包括支援センターである。夜間土日祝は休みだが、緊急時は両センターとも24時間365日対応可能である為、市役所が社協と連絡してほしい。

問 保険料算定方法は。

答 各市町で算定する。かかった介護保険事業費の50%が国・県・市の公費負担、残りのうち23%が65歳以上「第1号被保険者」27%が40歳以上64歳以下「第2号被保険者」の負担となる。保険料抑制のため介護給付費準備基金を充当し、第8期介護保険料は13段階中の基準となる第5段階で270円アップの6540円とした。上昇要因は介護サービスの充実による。

問 介護予防や健康意識の高い市民へ恩恵政策は。

答 健康ポイントなどのインセンティブ付加などのしくみ作りも検討していきたい。

## 介護の充実はかり予防で保険料の抑制を



東野 浩和 議員

問 本市における男性介護者の割合および状況は。

答 市が令和2年に実施した調査結果によると29.7%となっており、この3年間で3ポイント増加している。

問 「集いの場」などのコミュニケーション状況は。

答 「家族介護者交流事業」を年4回程度実施し、市内2カ所に「認知症カフェ」を設置している。男性介護者の参加が少ないため、参加しやすい場づくりを検討していきたい。

問 男性介護者の相談の特徴は。

答 方法が分からずイライラし、対応や身体介護がきつく乱暴になってしまうことや、仕事と介護の両立の負担面など、それぞれ異なる事情や状況がある。

## 男性介護者の孤立化を防ぐ環境づくりを

問 「家族介護者支援マニュアル」とは。

答 要介護者と共に家族介護者本人の人生の支援を中心に、行政や地域包括支援センターが行う取り組みについて示されている。

問 「家族介護者支援条例」の必要性についての市の考えは。

答 全国的に介護者支援の必要性が高まっていると認識している。

今後、地域の支えあいのネットワークづくりを進めていく中で、「条例」の必要性について研究していきたい。

意見 男性介護者の特徴として、真面目に真面目から取り組もうとするが、スキルが足りない中で思い通りの介護ができず、疲弊し孤立化していく傾向がある。このような現状を改善しようとして、全国各地で男性介護者の「集いの場」づくりの支援が広がっている。本市においても早急に取り組むべき課題と考える。

## 障がい者へのコロナワクチン接種対応は



能登 恵子 議員

問 接種順位と実施体制について。

答 新しいワクチンに対して少しでも不安なく接種できる「かかりつけ医」での個別接種を主にして、高齢者施設など集団接種を組み合わせるハイブリッド方式をとる予定。

①医療従事者②65歳以上の高齢者の中でも入所者から③基礎疾患の方④16歳〜64歳の順番。

問 国の最新手引き書によると、聴覚障がい者に対して、電話と口頭での説明となっていることから、FAXやメールでの対応と周知方法を分かりやすくとの要望もあり、問う。

答 障がいのある人への合理的配慮が必要と考えている。①案内文や予約の確認、接種時には予診や説明において、平易な言葉や文字、図、写真

など使用し、ユニバーサルデザインを基本とした対応を予定。

FAX予約が可能、Webサイト予約も検討。

問 身体障がい者、内

部障がい者、精神障がい者、聴覚障がい者などが利用できる支援は。

答 手話通訳者や手話奉仕員の派遣事業や外出支援、代筆や代読などを行う、同行援助事業を利用していたり、利用している。

参考 コロナウイルスワクチン接種の流れ

① 広報おまや全戸配布のチラシ、市のHPにてお知らせ。

② 接種券2回分、説明書、予診票を個別に送付。

③ コールセンターにてかかりつけ医と日程を予約。FAXあり。

④ 予約日に、接種券、予診票、お薬手帳、身分証明書を持参して接種。約15分〜30分健康観察後帰宅。

⑤ 2回目は③④

# 一般質問

問 厳しい財政運営が

4月以降、市民への新型コロナウイルススワフチン接種が開始される予定となっているが、実施体制やスケジュールについて伺う。

答 高齢者施設などの入所者から接種を開始したいと考えている。接種スケジュールとしては、2月17日から一部の医療機関の従事者に対し先行接種が開始されており、3月中には医療従事者への接種が本格化し、高齢者の方への接種は4月中に開始される予定となっている。国の計画では、医療従事者と高齢者対象の接種を、概ね6月中に終了し、その後、64歳以下の方に対する接種が始まる計画となっており、それに合わせて小浜市でも準備を進めている。



したなか まさゆき  
下中 雅之  
議員

## 市民に対し不安軽減第一の取り組みを

問

課題対応能力の高い組織づくりに対する考えについて伺う。

答 限られた職員で質の高い行政サービスを提供するには、ICTやAIなどの先端技術の活用などデジタル化を進めていく必要がある。また、これと合わせて、職員一人ひとりがそれぞれの持つ知識や技能を基盤としながら、課題解決に向けて自ら考え行動するとともに、そのような職員の行動を課ぐるみで支える組織づくりが大事である。

問

続く中、持続可能な行財政運営のためには、組織機構のスリム化は避けられないものと思われるが、その点についての考えを伺う。

答 新年度の組織機構の改編として、グループの統合や職員の兼務の見直しなどを行うことにより、意思決定に至る時間を短縮し、機動力のある組織の構築を目指している。

## 議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

### 1月

日	曜	行事等内容	出席者
10	日	小浜市成人式	議長
12	火	全員協議会 議会運営委員会、広報委員会	全議員 関係議員
13	水	地域防災・原子力安全対策特別委員会 福井県市議会議長会議員研修会	関係議員 各議員
15	金	産業教育常任委員会、広報委員会 福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)	関係議員 議長
19	火	第6次小浜市総合計画調査特別委員会 各派代表者会	全議員 関係議員
20	水	第6次小浜市総合計画調査特別委員会	全議員
24	日	地域防災・原子力安全対策特別委員会主催地域防災研修会	議長・関係議員
29	金	議会運営委員会	関係議員

### 2月

日	曜	行事等内容	出席者
1	月	広報委員会	関係議員
4	木	令和3年1月大雪見舞い(福井市他4市)	議長
5	金	総務民生常任委員会 全員協議会	関係議員 全議員
8	月	産業教育常任委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
10	水	広報委員会	関係議員
15	月	若狭消防組合議会、公立小浜病院組合議会	関係議員
16	火	おい町議会との北陸新幹線早期全線開業に関する意見交換会(おい町)	関係議員
17	水	議会運営委員会	関係議員
18	木	全員協議会	全議員
19	金	総務民生常任委員会、産業教育常任委員会	関係議員
24	水	令和3年第1回(3月)定例会、予算決算常任委員会 令和3年第1回(3月)定例会、予算決算常任委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会連合審査会、全員協議会	全議員
25	木	総務民生常任委員会、産業教育常任委員会、議会運営委員会、広報委員会	関係議員

### 3月

日	曜	行事等内容	出席者
1	月	総務民生常任委員会・分科会(～2日)	関係議員
3	水	産業教育常任委員会・分科会(～4日)	関係議員
9	火	地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
11	木	議会運営委員会、議会報告会連絡会	関係議員
12	金	産業教育常任委員会	関係議員
15	月	議会運営委員会	関係議員

16	火	令和3年第1回(3月)定例会(一般質問)、全員協議会 議会運営委員会	全議員 関係議員
17	水	令和3年第1回(3月)定例会(一般質問) 総務民生常任委員会、産業教育常任委員会	全議員 関係議員
18	木	予算決算常任委員会 議会運営委員会	全議員 関係議員
19	金	広報委員会、各派代表者会	関係議員
22	月	福井県都市計画審議会(福井市)	議長
23	火	令和3年第1回(3月)定例会、全員協議会 議会運営委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会、広報委員会、各派代表者会	全議員 関係議員
24	水	若狭広域行政事務組合議会(若狭町) 福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市) 小浜市区長連合会との意見交換会	関係議員 議長 関係議員
25	木	北陸新幹線早期全線開業特別委員会 嶺南広域行政組合議会(敦賀市)	関係議員 関係議員
26	金	公立小浜病院組合議会、若狭消防組合議会	関係議員
27	土	北陸新幹線タイムカプセル事業封入式	正副議長・関係議員
29	月	議会運営委員会	関係議員
30	火	原子力発電小浜市環境安全対策協議会、広報委員会 福井県後期高齢者医療広域連合議会(福井市)	関係議員 議長
31	水	全員協議会 総務民生常任委員会	全議員 関係議員

## 議会を傍聴しませんか？

— 6月定例会の予定 —

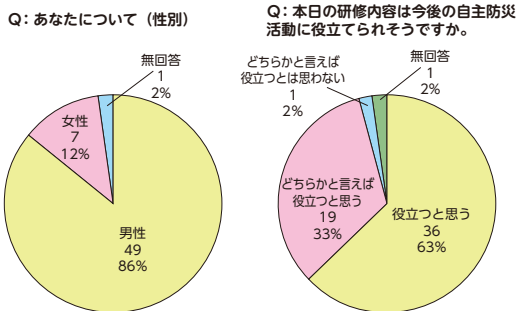
- 6月3日(木) 本会議・予算決算常任委員会
- 6月7日(月) 産業教育常任委員会(分科会調査)
- 6月8日(火) 総務民生常任委員会(分科会調査)
- 6月17日(木) 一般質問
- 6月18日(金) //
- 6月22日(火) 予算決算常任委員会
- 6月25日(金) 本会議

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況などに応じて、変更が生じる場合があります

# 特集 地域防災研修会報告

小浜市議会「地域防災・原子力安全対策特別委員会」主催

開催日時 令和3年1月24日(日)  
 場所 働く婦人の家3F  
 講師 池田恵子氏  
 テーマ 「地域住民の視点を生かした 災害に強い地域づくり」  
 参加者 69名  
 アンケート回収数:57



**内 容** 池田教授は、西日本豪雨災害を例に、被災地の実態を紹介した上で、地域の防災体制について、避難するという短期的な対策だけでは意味がなく、長期的な避難生活を想定した体制づくりが大切であると提案されました。

また、多くの自主防災組織は男性を中心に運営されている傾向にあるが、避難所の運営を考える上では、女性や高齢者など多様な視点から現状や課題を捉えることが重要であると説明。世代や立場別の関心事に応じた防災イベントや広報を実施するなど、様々な方に自主防災活動に参画してもらうための手法を、具体例を交えながら紹介されました。



研修会の様子

地域防災研修会

参加者募集

■ 演題  
地域住民の視点を生かした 災害に強い地域づくり

■ 講師  
静岡大学教育学部教授  
同 防災総合センター兼任教員  
**池田恵子先生**

平成 28 年 台風 18 号 一級阿川断水川 支離 本阿川氾濫

**研修テーマ「地域防災力の強化を図り 災害に強いまちづくりを目指して」**

近年、全国各地で頻発している大雨による洪水や地震などの自然災害、火災や原子力広域避難等に対し自衛の備えが重要であります。災害発生時においては、国、県及び市などが行う公助については限界があり「自らの安全は、自ら守る」という自助と「自分たちの地域は、自分たちで守る」という地域住民がお互いに協力し支え合う共助が、重要であります。私たちは、この研修会を通じて防災知識の向上と実効性ある自主防災のあり方を啓発すると共に地域防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを目指し開催します。

研修日程
13時00分～受付開始
13時30分～開会
13時40分～基調報告
14時00分～講演
15時30分～質疑
16時00分 閉会

多くの方に参加いただき、ありがとうございました。アンケートの回答の中から一部を掲載します。

## <ご意見や感想・課題など主なもの>

- 被災地に出向かれて、実際に味わった体験をもとに話が展開されており説得力があった。女性参加が必要であること、関連死が多いことなど、大きな災害を想定しているようでしていなかった自分に気づくことができました。参加して良かったです。
- 防災組織の活動方法について、考慮すべきところがよく分かりました。女性の参画の重要性が分かりました。今後女性にどうやって参加してもらうかが最も大きなポイントであると思います。
- 各区で防災活動に対して温度差があり、どのように差を無くしていくか苦慮中。
- 地域に特化した実効的研修が望ましいと思います。
- リーダーがいない。どのようなことをしていくのが良いかアドバイスが欲しい。

## 編集後記

今期委員のチームワークもよく、意欲的に取り組むことができました。

議会の活動をできる限りわかりやすく市民の皆様にお届けするため、その架け橋となるべく学びを深めました。議会広報の専門家に見ていただき、審査やアドバイスを受け、オンラインで先進事例を学習、検討を重ねました。予算やページ数などの制約がありますが、今後ともブラッシュアップし、紙面の充実に取り組んでいきます。

市民の皆様のご意見をお待ちしています。

(広報委員 藤田善平)

## ●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。

